2027 年度 臨床専門専修科生研修プログラム

講座名	口腔腫瘍外科学講座
主任教授	野村 武史
プログラム責任者名 (プログラムの管理・運営)	野村 武史
プログラム修了時に資格要件を満たす学会認定等の名称	公益社団法人 日本口腔外科学会 認定医・専門医・指導医 ＮＰＯ法人　日本口腔科学会 認定医・指導医 一般社団法人 日本口腔診断学会 認定医・指導医 公益社団法人 日本口腔内科学会 認定医・専門医・指導医 一般社団法人 日本口腔腫瘍学会 専門医・指導医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医（歯科口腔外科） ※その他各種学会認定医・専門医資格あり
研修期間 (入学時期)	原則 1 年間（最大 6 年間まで延長可能、4 月入学）
受入れ人数 (総数)	各年度 約 8 名
指導医	野村武史 (日本口腔外科学会、口腔診断学会、口腔科学会、口腔内科学会、口腔腫瘍学会、口腔顔面痛学会)、三邉正樹 (口腔外科学会、口腔内科学会、口腔診断学会)、岡村将宏 (口腔外科学)、菊地崇剛 (口腔外科学会)、大村雄介（口腔外科学会）
修了の認定要件	各学会の専門医および認定医の資格要件に沿った臨床研修に関する実績報告書の作成により修了と認定する。

プログラムの目的

日本口腔外科学会認定医・専門医をはじめ、日本口腔科学会、日本口腔診断学会、日本口腔内科学会等の認定医・専門医資格取得に必要な臨床研修、研究および論文作成を行う。

ユニット

口腔腫瘍外科学講座の臨床専門専修科プログラム

一般目標（GIO）

日本口腔外科学会の認定医・専門医、日本口腔科学会、日本口腔診断学会、日本口腔内科学会などにおける各認定資格を取得または同等の要件を満たすための知識および技能を修得する。

行動目標（SBOs）

１．基本的な口腔外科、口腔内科の知識、技能、態度を習得できる。
２．医科研修により全身と口腔との関連および周術期管理を学ぶことができる。
３．口腔がんセンターを通じて、口腔腫瘍に関する専門性の高い臨床、研究を行うことができる。
４．総合病院ならではの多様な疾患に対応するため、マネージメント能力、医療連携、周術期管理、高度口腔外科手術手技に関する知識、技能、態度を修得できる。

方略 (ＬＳ)

１．歯科・口腔外科外来、口腔がんセンター外来、病棟・手術室における口腔外科研修、隣接医科研修を行う。
２．1 年間で最大 4 診療科を選択して医科研修を行う。

評価 (ＥＶ)

症例毎の形成的評価、専門学会での学会発表、専門領域における学術論文の作成・投稿

プログラム修了時における学会認定医等の具体的申請基準

日本口腔外科学会認定医は、学会在籍２年以上、診断レポート 10 例、周術期管理レポート 10 例、手術管理症例数 30 例以上を要する。同学会の専門医は、学会在籍 6 年以上、手術症例数 100 例以上、学術論文 3 編以上、入院管理症例数 50 例以上を要する。日本口腔科学会認定医は学会在籍 3 年以上が必要である。日本口腔診断学会および日本口腔内科学会の認定医は、学会在籍 3 年以上 (または 2 年以上) に加え、診療実績、研究発表、学会発表などの実績を要する。

問い合わせ先	教授・野村 武史（tanomura@tdc.ac.jp）